小さな頃から（自小时候起）（1994）

作詞∶YUKI

作曲∶恩田快人

小さな頃から 叱られた夜は

从小时候开始 在那些被训斥的夜晚

いつも 聞こえてきてた あの小さなじゅもん

总是能听见那小小的咒语

静かに流れる 時にいつの日か

时间静静地流淌 那时的某一天

あたしは 眠れる森に 連れ去られてた

我悄然入眠 被带进了梦中的森林

小さな頃から 見えない力で

从小时候开始 它就用那一股无形的力量

あたしを強くさせる あの小さなじゅもん

将我变得更加坚强 那小小的咒语

たくさんの傷と 争う夜にも

那些争吵的夜晚 满身伤痕

抱きしめるたびに いつも震えて響く

紧紧相拥的时候 总能感受到那颤抖的共振

すりきれた言葉達の かけらさえも もう

どこかへ 消えたわ

那些曾经挂在嘴边的话 现在就连只言片语的记忆

也早已不知在何处淡然逝去

壊れそうなのは 夢だけじゃないの

残破不堪的 不只是那些梦而已

窓から差し込む光 もう行かなくちゃ…

晨光射进窗户 已经不能再眷恋了

かわいた風に ゆきづまっても

こわくはないわ 1人じゃない

即使这样陷入凛冽的寒风中而走投无路

也不用害怕呀 因为你并不是孤身一人

すりきれた言葉達を きっといつかまた

愛せる時がくるかしら

那些曾经挂在嘴边的话 一定还会在某个时候

重拾对它的爱的吧

少し眠ったら 朝はまたくるわ

若再稍稍歇息 清晨也将会来临

窓から差し込む光 もう行かなくちゃ…

晨光射进窗户 已经不能再眷恋了

ただ 歩く ひとごみにまぎれ

只是一步一步走进人群之中

いつも なぜか 泣きたくなる

却总是 不知何故悲从中来